

寺井町会とのタウンミーティング

2019.6.21（金） 19：30～20：40

寺井町多目的ホール

○参加者 市民 36名

○タウンミーティング議事録

【寺井町町会長あいさつ】

お疲れの中、また足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。井出市長にもお忙しい中、貴重な時間を割いていただきありがとうございます。市長との懇談会ということで、100人くらいは集まる大きな町だが、不特定多数の方を対象とせず、今回は出席者を各団体の長に限定して中身の濃い会となるようにした。代表の方から質問、意見、提言を頂きたい。

【市長あいさつ】

今日はこのような機会を設けて頂きありがとうございます。忌憚のない色々な話をさせて頂きたい。

今日で6月議会が閉会した。先日、住みよさランキング2019年度版が発表され、1位が白山市、3位が野々市市。能美市も8位にランクインした。2018年は19位だったので、大幅にランクアップした。何がランクアップをもたらしたのか、今、詳細な情報を分析しているが、812市区の中で子どもの医療費補助が手厚いということで1位、下水道普及率で1位という評価を頂いてランクがあがった。しかし利便度ではランクを落としている。毎年評価する指標が変わるので、それに一喜一憂していると施策を誤ってしまうのではないかという思いがある。しっかりと市民の声を市政に反映させていくことが何よりも大事だと思っている。いろんなお話を聞き、市政に反映していきたい。

【意見交換】

1. 信号機の設置について（寺井町会）

（町会長）

- 東西連絡道路が高堂交差点から寺井西交差点まで完成して、現在、寺井図書館前から寺井体育館前の歩道橋まで工事中で、もうすぐ完成という状況である。図書館前の道路を安全に横断するために、信号機設置をお願いしたい。

(市長)

- 信号の件については、交通量が激しく、図書館へ行く人も多いだろうということで、能美警察署へ要望している。寺井まちなかの東西連絡道路の完成が令和3年3月の予定で、設置するのは道路が完成する時であると思うので、要望を続けていく。

2. 公共施設への案内看板設置について（寺井町会）

(町会長)

- 旧寺井警察署跡が整備されて民間に売却されるという話を聞いている。町として、そこと市営住宅との間に流れる2m幅の用水を、生産組合に協力してもらい、雨水専用として1m幅に狭くしてもらい、多目的ホールから県道へ出る市道を整備してもらうことになった。そこで、寺井庁舎や多目的ホール、ふれあいプラザの施設への案内看板と矢印を設置してもらいたい。

(市長)

- 市内には約2,500のいろんなサイン看板があり老朽化しているものが多い。また一部の施設が新しくなったにも関わらずその施設名が記載されていないということもある。今年度いっぱいをかけて市内のサイン看板がどんな状態であるのか、どのような形態かきちんと把握するようにしている。その後、どの順番でどの看板を整備していくのかという方針をつくっていく。その中で、今の提案の看板も含めて検討していく。

(町会長)

- 信号機設置の件は公共施設前であり、大人から子供まで利用するので、早急にお願いして頂きたい。
- 案内看板の設置は、今の話を聞くと難しいかと思うが、市役所寺井分室、ふれあいプラザ、保育園があるということで認めて頂きたい。

3. 公民館活動（公民館）

(市民)

- 寺井町は町民の数が多く、公民館活動を行いやすいが、いずれ寺井町会も少子高齢化となってきた公民館活動も難しくなる時期がくるであろう。他の町会も含めて、能美市が公民館事業に対してどういう思いでいて、どのような支援ができるか。そのような機関を各部署の中に設置ができないかという思いがある。
- 県が職員の公務以外のプラス1活動という地域活動を促している。市の職員も寺井町のことにに関わり、市との間を取り持ち、調整して頂ければと思う。町もバックアップができる。市として対策をしてもらいたい。

(市長)

- 県の公務プラスワン活動については、それぞれの町と行政を繋ぐためにあるものではなく、県の職員が積極的に地元の事業に参加していこうという取り組みで、そこをまず抑えて頂ければと思う。
- 今、能美市は人口が増えてきている。その背景には、移住が増えている。また、一人暮らしの高齢者、障がいのある方もいる。外国人も増えているということで、コミュニティ、コミュニケーション、絆をさらに深めていく必要があるのだろうという思いである。能美市では、共生社会という言い方をして、それを推し進めている。その中で公民館の活動が大きく寄与している。従来からそこに住んでいる方々もだんだん近所の人達との触れ合いが少なくなってきたという中で、公民館の活動がますます重要になってくる。寺井町は能美市の中でも大きな町で、行事もたくさん行われていることは把握している。公民館活動というのは、地域に暮らす人達が主体となっていただくのが基本になっているわけで、みなさんがどうやってこの事業をうまくやっていくかと、横のつながりで相談してやっていくことが主体ではないかと思っている。市としてどんなサポートをしていくかについては、お互いにキャッチボールをしながら進め、できるだけサポートさせて頂きたいという思いである。
- 市の職員が町の行事にもっと参加すべきということは、市の業務を進めるうえで、市役所の中にとどまっているだけでは皆さんの声やいろんな状況がわからないから、どんどん出て欲しいと、私も推奨している。もう一度声掛けをしていく。

(市民)

- サポートについてよくわかった。
公民館と市とのつながりは縦のつながり、ピラミッド形式となっているので、寺井町から地区、そして能美市ということになる。自治公民館協議会をとおして担当窓口の生涯学習課へとなる。直接の窓口を考えて欲しい。

(市長)

- 専任の窓口ということではなく、いつでもいろんなことで相談できる体制は整っているんで、何かあればご相談いただきたい。

4. 防犯カメラの設置について (壮年団)

(市民)

- 東西連絡道路の完成に伴って、それぞれの交差点に防犯カメラを設置して欲しいと思う。理由は、ここ1年弱の間で、事故が大小合わせて10件ちかく起きている。また先々月、近所で当て逃げがあったと、店頭の防犯カメラで確認したいと頼まれたことがあった。能美市でもいろんな意味で危険なことが起こるのだと思った。要所に防犯

カメラを設置したら、わかるのではないかと思います。新しくできる外灯全部につければと思うが、せめて交差点ぐらいに設置してはどうか。不審者等の防犯、抑止力になるのかとも思う。

(市長)

- 最近の凶悪な事件や悲惨な交通事故等を見ると、防犯カメラに映し出された映像が犯人を捕まえるという意味でも、効果を示していることは承知している。
- 最近の防犯カメラにはUSBのようなものを取り付けて、何か起こった時にはそのデータで確認するタイプが主流となっている。市とすると市内全域に設置するということにはならない。市の施策として、町会が設置した場合、その2/3を補助する制度がある。上限は20万円。寺井町でも優先順位を相談して、市の助成制度を利用して、防犯カメラをつけていって欲しい。

(市民)

- 市が交差点に外灯をつけると聞いている。市の外灯につけるということはないのか。

(市長)

- その数は相当なものだから、各町と相談をして、適時につけていきたいという思いである。通学路に付けて欲しい、交通量が多い県道に付けて欲しいという声が多い。そこは限られた財源の中でどうやってつけていくかというになる。地域の皆様のご理解とご協力を得ながらでないと進めていけないということを、ご理解いただきたい。

(市民)

- どこか補助金をもらって設置した事例はあるか。補助制度があることは初めて聞いた。

(市長)

- ないです。

5. 北鉄バスの寺井町内運行について (和老会)

(市民)

- 北鉄バスが金沢駅から寺井分室前の寺井中央バス停まで1時間に1本くらい、朝の通勤時間帯は40分に1本くらい通っている。高齢者にとっては金沢へ行く一番いい方法ではないかと思う。高齢者は運転免許書を返納しようと言われている時代である。旧国道を通って寺井史跡公園前から寺井中央へ来るが、今度、東西連絡道路が寺井町内を通るようになったらそれを機に、バスを寺井町内を通って寺井分室まで来るようにし、寺井町

内に2箇所バス停ができれば、町民にとって便利になるし、川北や金沢からも来やすくなるのではないと思う。それには北陸鉄道との協議があると思うが、できる可能性はあるかということも含めて聞きたい。

(市長)

- 今のお話はすでに北陸鉄道に伝えたが、どう判断されるかです。私も3年くらい前に寺井地区公民館の前から乗車した時は、寺井からは1人、金城大学から3人乗ってくるという状況だった。先日、老人クラブ連合会の時に150人くらいの参加があり、そこでのみバスに乗ったことがあるか聞いてみたら、10人くらいしか手を挙げられなかった。問題は何人乗っていただけるかということで、それで北鉄さんも判断される。おそらく利便性はよくなると思うが、やはりそれに見合う乗車が無いと廃止になってしまう。要望しているので、運行できた時には利用して頂かないと、またすぐ廃止になってしまうということもご理解いただきたい。

6. 高齢化に伴うコミュニティバスの路線開設について（九谷町むとせ会）

(市民)

- 九谷町では高齢化が進行して、昨年の統計では65歳以上の方が36%となった。高齢者の自動車事故が増えて、免許返納が推奨されている。そこで環境整備について考えて頂きたい。のみバスは一日2便くらい、福祉施設中心の運行ですが、人生100年時代になって、免許返納した後の自活できる高齢者というものに目を向けてもらおうと、日々の生活に必要な生鮮食料品や生活用品の買い物が必要であり、郊外と商店街を結ぶバス路線の充実をしてもらえないか。

(市長)

- のみバスについては、2年間タウンミーティングをしてきた中で、一番要望が多かった。ルートが悪い、停留所まで遠いといったこと。一方、利用が少なく、今、1車あたり平均7人の乗車となっている。利便性が悪いのだろうといろいろ考えて、1時間に1本同じ時刻に来るようなダイヤにし、便数も増やし、連携バスと循環バスの乗り継ぎ時間を短縮し、JR能美根上駅での電車との乗り継ぎ時間も短縮したいと考えている。そのプランを2020年春に開始する準備を始めている。九谷町では平日7便になり、今は1日4便なので、増えることになる。また、連携バスとのつながりもよくなる。市内には今まで、連携バスと、寺井循環、根上循環、辰口循環ルートの4ルートだったが、新たに里山ルートを設け、さらにいろんなところに短時間でいけるようにする。またそれをご覧になり、利便性についてご意見をいただきたい。それから、のみバスだけでは目的地にいけないという方のために、タクシーチケットとのセットの回数券を販売している。そちらもご利用して頂きたい。

7. 地元商店街の維持・振興について（九谷町むとせ会）

（市民）

- 高齢者が買い物をするときは、地元の寺井町内で買い物をしたい。以前の商店街よりも今は活気が見られない。地元商店街の維持振興というのが私どもの頼みの綱となっている。能美市として、地元商店街を利用し易い制度やポイントの付与といった補助を充実させて、商店街の存続に手を貸してもらえないか。人のたくさん集まるところに店を構えるが、生活の利便というのは考えられていないので、市として考えてもらいたい。

（市長）

- 商店街の件については、おっしゃるとおりです。地域のコミュニティを維持していくためには、大規模商店ではなく、地元商店の空き家等に入ってもらえればと思っている。市ではそういうところにお店を出された場合には、かかった費用の一部を助成する制度もつくっている。それをPRし使っていただけるようにして、ひとつでも多くの店が復活できるようにしていきたいという思いがある。それから、能美市に移住してきた方には、お一人あたり2,000円、結婚された方に5,000円のみ商業協同組合の商店で使える商品券を出している。移住してきた方に地元の商店街へ行って魅力を感じてもらいたいとねらって、商店にも新しいお客さんに来てもらえるように磨きをかけてもらうという思いの中で、そんな制度を実施している。お互いの相乗効果で賑わいをつくって欲しい。

8. 寺井地区公民館前の交差点について（寺井町女性会）

（市民）

- 寺井地区公民館前の交差点で、スイートKさんと寺井分室の間の道からの車の出入りの仕方がわかりづらい。

（市長）

- どの信号が青なら行っているのかわからないということかと思う。実はだいぶ前から要望がでているが、安全対策が決められないままきているようだ。信号機をつけようにも交差点が広くどこにつけてもわかりづらい。危険なので何とかしたいと思っている。

（町会長）

- スイートKさんと寺井分室の間の道から出るときは、信号機に関係がなく安全を確認して通行できると聞いている。

(市民)

- 警察へ要望をお願いします。

9. 寺井地区公民館裏の駐車場外灯について（寺井町女性会）

(市民)

- 寺井地区公民館裏の駐車場の外灯が 22 時頃には消えてしまい、グラウンドが特に真っ暗になってしまう。道路に面しているところは道路の外灯があるが、小学校のグラウンド側が真っ暗なので、1 つくらいついていた方が安全のためによいのではないかな。

(市長)

- 寺井地区公民館の外灯は、前は 22 時半まで点いていたが、近隣のアパートの方から明るくて困ると苦情があった。公民館が 22 時までなのでなんとかとお願いして、22 時の消灯としている。防犯上問題があれば、町会長と相談し、近隣の住民のご理解を得ながら、対応したい。

10. 通学路のガードレール設置について（九谷町女性会）

(市民)

- 旧国道の通学路を歩いて子供が帰ってくるが、見ていると危ない。縁石に上ったり、傘が飛んで行ったりして危ないとよく聞く。ガードレールがあれば、まだ安全で、車が突っ込んできたときも防げると思う。

(市長)

- 県へお願いするようにしていく。

11. 通級クラスの増設について（九谷町女性会）

(市民)

- 小学校の通級クラスを希望している保護者が多いと聞いたが、能美市には寺井小にしかそのクラスがなく、入りたいけれども入れない人が多いと聞いている。他の学校からも寺井小に来てもらうということらしいので、根上地区、辰口地区にひとつずつであれば、余裕もあって入れる子が増えるのかと思う。

(市長)

- ・ 小学校の通級クラスは市内に 4 か所あって、中学校は寺井と辰口にある、平成 29 年度は 4 つだったのが現在は 6 つに増えている。希望している方は全て入れていると聞いている。もし通級クラスに入る基準でなく入れなくても、しっかりとサポートするように先生方

も対応していると聞いている。まだ希望する方がいらっしゃれば言って欲しい。

12. 中高生が外で遊べる場所について（九谷町女性会）

（市民）

- 中学生、高校生になると外で遊べる場所が少ない。小学校へは行けない。公園でも力が強くボールが飛んで行ってしまうのでバスケットボールやサッカーができないらしい。考えてもらいたい。

（市長）

- サッカーなどは、小中学校のグラウンドが空いていればできるので、使ってください。例えば試合形式で専用となる時は申請してもらう必要があるが、2～3人でボールをけて遊ぶ分には使ってもらえる。

13. 新規出店希望者、既存店舗への行政支援（寺井地区商業組合）

（市民）

- 寺井町内は、ここ30年ほどの間に商店が60店舗から30店舗に減っている現状があるが、ドラッグストアなどが進出していることを思うと、立地としては悪くないと思う。車さえあれば買い物ができるが、高齢者の徒歩で買い物をする人を支援するコンパクトなまちづくりを考えると、空き店舗の利用について市の支援をお願いしたい。空き店舗はそれほどないが、使ってもらえると所有者にも得るものがある。市で斡旋して頂くと新たに起業される方も安心して使えるのではないかな。

（市長）

- 空き店舗の活用に対して市でもいろんな助成制度があります。創業支援補助金制度では、空き家、空き店舗を活用した場合にはさらに10万円上乗せしている。組合の方もいろんなチャンネルがあるので、皆様方にもご協力願いたい。市も宣伝していく。

14. 高校生に人気の飲食店誘致について（寺井地区商業組合）

（市民）

- 寺井高校生が集まれる、そんな店の誘致をお願いしたい。

（市長）

- 飲食店があればいいと思う。なかなか商売に結び付かないのか、なぜできないのか不思議に思っている。積極的にやっていきたい。

15. 県道栗生小松線の歩道設置について（寺井地区商業組合）

（市民）

- 歩道の整備について、緑町交差点から南天橋へ向けての県道の歩道を広くして頂きたい。小中学生が歩くので、色付けや光るようにして頂きたい。

（市長）

- 歩道の拡張は難しい。住宅の立ち退きが必要になってくるので、相当時間も費用も必要となる。

（市民）

- 歩道の部分の色を変えたらどうか。

（市長）

- 歩道にすると、自転車が走れなくなるなど、かえって難しいのではないかな。何か考えなくてはならない。

16. 外国人へのゴミ出しルールの周知について

（市民）

- 近くに民間の共同住宅があり、16室ほどある。ブラジルの方が住んでいて、ゴミ出しのルールが守られず、スーパーの袋に分別せずに出される。管理会社に電話するがコールセンターにしかつながらない。管理会社の説明には地区の決まりを守ってくださいとあるだけで、詳しいことがわからないのだろう。英語以外の外国の方に、ホームページなどで細かいことを書いてほしい。

（市長）

- おっしゃるとおりで、今、市では外国人専用窓口をつくり、そこでは母国語できちんとゴミの出し方なども伝えている。住民票を移されない方もいる。大家さんが代わりに手続きをする場合もある。大家さんや関係する人とどういったことができるか、取り組んでいくようにします。大家さんに言っていただくのが一番だと思う。また教えてください。

17. 東西連絡道路について

（町会長）

- 市と協議しながら取り組むことがたくさんある。無電柱化をして町内の道路を広くするなどしてきた。東西連絡道路の寺井小学校前はようになっていくのか。

(市長)

- 未定です。順番に道路をつくっていく必要があつて、今後は寺井図書館前を終了し、高堂の方に入り中ノ江町へとつなげることになっている。ここも相当時間と費用がかかり、ここの目途が立たないと寺井小学校前をどうするかという計画を立てるのは難しい。もう少し待っていただきたい。

(閉会)